英雄伝説
空の軌跡5
ソラノキセキ
漫画・啄木鳥しんき
原作・日本ファルコム

※エステル・ブライト

Estelle Bright

リベール王国ロレント地方出身の16歳。明るく元気でいつも前向き、純粋な人柄は誰にでも好かれる。遊撃士に憧れていたエステルは、16歳となり試験資格を得てすぐに、ヨシュアと共に準遊撃士の資格をとる。父譲りの棒術には天性のカンを持ち、身体を動かすことが得意な実戦派だが、机の上の勉強はちょっと苦手。各地を巡り、多くの人と接する中で、少しずつ成長している。ヨシュアとの関係にも微妙な変化が…？

※ヨシュア・ブライト

Joshua Bright

エステルと同じ16歳。カシウス・ブライトと血は繋がっていないが養子として迎えられ、実の子と分け隔てなく育てられる。性格は冷静沈着で、何事にも動じず、分析的な行動をする。普段は穏和で、周囲に気を使うタイプだが、時に冷酷ともいえる一面が覗くことも…。ここまでの行動からもエステルのことが好きなのは明白だが、それを一切誰にも悟られないように振舞っている。

ここまでのあらすじ

地域の平和と安全を守るプロフェッショナル「遊撃士（ブレイサー）」を志すエステルとヨシュア。遊撃士の仕事で国外へ旅立ったのち、行方の知れない父、カシウス・ブライトからの手紙をきっかけに、正遊撃士となるための旅を続けていた。
導力技術の権威、ラッセル博士による「黒の導力器」の実験は、町一帯のあらゆる導力器の停止現象を引き起こす。さらなる調査に意欲を燃やす博士であったが、中央工房でのガス騒動に乗じて、何者かにより拉致されてしまう。遊撃士のアガットとも再会し、アガットが追い続けていた「黒装束」の一団を追うエステルとヨシュア。捜索により黒装束を探し出し追い詰めるが、ティータの見る前で博士の救出に失敗する。現場に残された状況からヨシュアはこの事件の裏に、ある男の影を感じていた—。

英雄伝説

空の軌跡5

ソラノキセキ

漫画・啄木鳥しんき

原作・日本ファルコム

Contents

第33話……005
第34話……025
第35話……049
第36話……069
第37話……093
第38話……120
第39話……138

※ティータ・ラッセル

Tita Russell

工房都市ツァイスに住む導力技師見習いの少女。人当たりが良く明るかな性格で、誰からも愛されるが、機械を前にすると夢中になり、技師ならではのガンコさを見せる一面も。祖父アルバートとの二人暮らし。

※アルバート・ラッセル

Albert Russell

ティータの祖父であり、導力学者。オーブメントを開発したエプスタイン博士の直弟子で、リベールのオーブメント技術の基礎を築いた伝説的人物でもある。発明に熱中すると周りが見えなくなる、良くも悪くも天才肌。

※アガット・クロスナー

Agate Crosner

「重剣のアガット」と呼ばれる凄腕の若手遊撃士。かつてはルーアンの不良グループ「レイヴン」のリーダーだったが、ある人物の影響を受け遊撃士となった。強面で無愛想、常に威圧感のある雰囲気をまとっている。

※アルバ教授

Professor Alba

古代人が天から授かった七つの至宝（セプトテリオン）のひとつ「輝く環（オーリオール）」がリベール王国に眠るという伝承を追ってやってきた考古学者。各地を巡っているため、エステルたちとよく遭遇する。

※アラン・リシャール

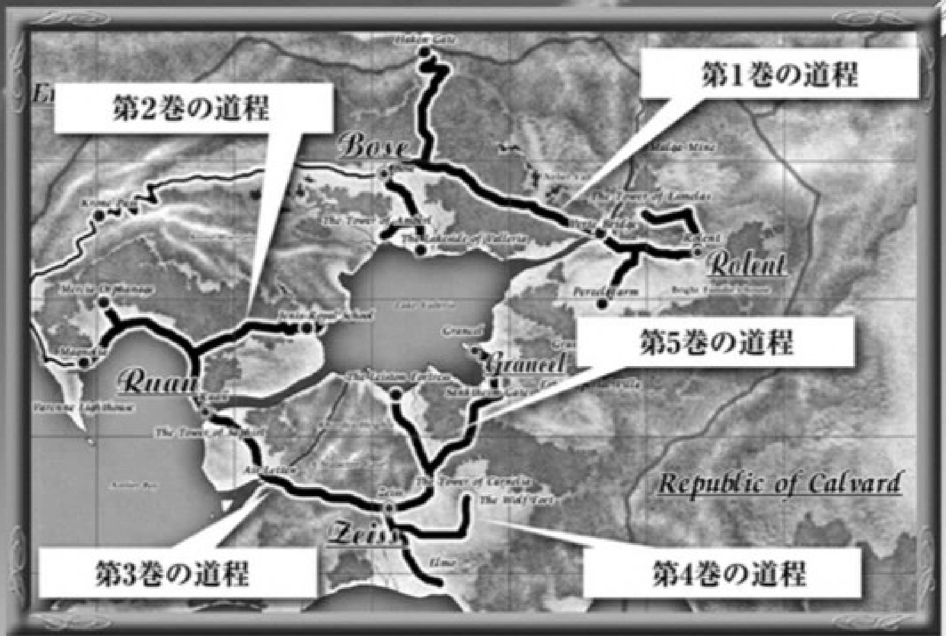
Alan Richard

リベール王国軍情報部の最高責任者で、若くしてキレ者ともっぱらの評判。階級は大佐。活動の領分を巡り対立傾向にある軍部と遊撃士協会だが、その関係を協力的に保ちたいという姿勢をとる人格者。

※カノーネ・アマルティア

Kanone Amartia

リシャール大佐の副官として、常に付き従う。階級は大尉。リシャール大佐の推薦で情報部に異動となって以降、彼の片腕として遺憾なくその手腕を発揮してきた。美人だが、少々冷たい印象がある。



実は……事件の日にな
ちょうどレイストン要塞から応援に来た王国軍情報部のカノーネ大尉とはちあわせてよ……

なんですって!?
では…犯人は王室親衛隊だと!?
いいえ おそらくそいつらは偽者ですよ
え…
まあ…まだ推測にすぎませんがね
幸い筋のいい遊撃士たちが犯人逮捕に動いてますし
じきに連中の正体もはっきりするでしょうよ
……
その賊をカメラに収めたとおっしゃいましたね
ぱっちりと!
はいっ
偽者とはいえ見た目は親衛隊の姿
写真が公開されれば余計な誤解を招く恐れがあります
ドロシーさん
そのカメラの感光クォーツ
我々に預けていただけませんか?

そ…それはないでしょうカノーネ大尉!
え―
報道規制する気ですか!?
そう…ですね
同じ軍人として身内をかばっていると批難されても仕方ありません…
ですが……王室親衛隊は私たち王国軍の誇りなのです
彼らの…ひいては女王陛下の名誉をまもるためにも
どうか……
う…
い……っいやいや!!しかし!!
それとこれとは
わかりました
どうか親衛隊の皆さんを守ってください!
ああ〜っ
あ〜あ〜…

……って
ついでに関係ない写真まで丸ごと渡しやがってよ…
うっうっうっ
だから私感光クォーツを返してもらいにレイストン要塞まで行ってきたんですよ
えらいでしょ
返してもらえなかったら意味ないだろーが!!
その時に撮ったのがその写真なんだよ
ね…ねぇ…ドロシー…
写真を撮った時上空を何か飛んでたりしなかった?
上空?
ほら…
ここ何か写ってるように…見えない?

あーーっ
ほんとだー!!
でしょ?
でしょ?
これ
なんだと
思う?
鳥さんじゃ
なさそうだし…
飛行船かなー?
飛行船!?
要塞の中に
入ってくようにも
見えるから…
軍の警備艇
なのかも?
……
軍の…?
そう…
なんだ……
……いや
この
シルエットは
警備艇
じゃないよ
やっぱり
……!!
これって…

ラッセル博士を
さらった飛行艇!!
なっ
なんだって!?
間違い
ないわ!!
あたしこの目で
見たんだから!!
犯人の船は
この要塞の
近くに逃げて
来たのよ!!
待て待て!!
なんで犯人が
わざわざ
こんなルートを
選ぶ必要が
あるんだ?
よりにもよって
王国軍の本拠地
レイストン要塞
だぞ!?
身元不明の船なんざ
近づくだけで速攻
撃ち落とされるのが
オチだぜ!?
だけどこの船は
落とされずに
優雅にお空を
飛んでますよー?
それは…だな!!
なんか他に
要因が…
つまり船に
気付かなかった
ここの軍人さんが
無能だと…
おまえが
言うか!?
あーもう!!
こんな所で
ぐだぐだ言ってても
仕方ないわ!!

こうなったら
直接乗り込むっきゃないわよね!!
えぇ〜
えー
あ
じゃなくて!
慎重に…状況を把握……
確かに色々な可能性が考えられるけど
ここはエステルの言うとおりだと思う
ヨシュア!
僕たちもレイストン要塞に行って事情を聞いてみよう!

えとえと…
よかったらこれお洗濯が終わるまで…
お父さんの服で悪いんですけど
サイズは…大丈夫ですか?
ああ問題ねぇ
よ…よかったぁ
あ…あの…お口にあうかわかりませんが
よかったら…どうぞ!
じゃあわたし急いで服を直してきます
それまで自由にくつろいでてくださいね
ぱたぱた
ぱたぱた
ああ

パラ
パラ
ツァイスの街からリッター街道を経て
ソルダート軍用路を北に進んで行くと
ヴァレリア湖南岸にひときわ大きな建物が見えてくる

ここが
王国軍総司令部
レイストン要塞だよ
うわ――……
なんか…
威圧感が
ハンパないわね
リベール王国最大にして
最重要の軍事施設
だからね
実際 10年前の戦争でも
この基地は陥落せず
反攻作戦の拠点と
なったそうだよ
よーし…
じゃ
いっくわよ
――!
君はつくづく
物怖じしない
子だね
そんな必要は
ないでしょ?
別に敵が出てくる
わけじゃないんだし

何だね
君たちは
え!?
誰!?
落ち着いて
エステル
ここは
レイストン要塞だ
民間人の
立ち入っていい
場所ではない
あ…
スピーカー?
悪いが
引き返して
もらえるかね
あたしたちは
民間人じゃないの
あたし
遊撃士協会の
エステル・ブライトと
いいます!
同じく
ヨシュア・ブライト
です
中央工房が
襲撃された件について
お話があります
責任者の方に
会わせて
いただけますか?

……
生憎 責任者は 留守にしている 最中でね
ではどなたか 情報部の方を お願いします
リシャール大佐か カノーネ大尉に至急 伝えてもらいたいことが あるんです
ね…ねぇ ヨシュア…
リベールで一番 大事な基地の 責任者が 留守って…
よくある ことなの?
来たよ エステル
ガゴン
ゴゴゴゴ
扉が ひとりでに…
この要塞の扉も 導力で作動している みたいだね
ゴゴゴゴ
ゴゴゴ
待たせてしまって 申し訳ない
自分は レイストン要塞の 守備隊長を務める マクシミリアン・シード少佐だ
申し訳ないが
情報部の人間も 全員不在でね

伝言があるなら
自分が
聞いておこう
実は
では
シード少佐
この写真を
見ていただけますか
これは…
レイストン要塞じゃ
ないか
どうして
こんな写真を…
ごめんなさい
勝手に基地を
撮影したことは
大目に見て
ほしいの
で……これが
どうかしたのかね
よく見て
少佐さん
右のほうに
飛行船が
写ってるでしょ？
飛行船
……？
あの……
中央工房が
襲われて
ラッセル博士が
連れ去られた
ことは……
知ってます
…よね？

無論だ
中央工房から
連絡を
受けているし
捜索も
始めている
よかった
あたしたちも
その犯人と
博士の行方を
追ってるの
実は
博士をさらった
犯人の飛行艇が
その写真に
写ってる飛行艇と
そっくりなんです！
だから
ここに来てみれば
何か話が聞けると
思って！
スッ
なるほど…
協力
感謝する
情報部に
伝えておこう
あ…
はい！
では
失礼する

へ？
ちょ…ちょっと待って！
それだけ!?
それだけとは？
なによ…それ……
犯人の飛行艇が
ラッセル博士への唯一の手掛かりが
この近くに来たかもしれないのよ!?
それを見逃したのは完全にこちらの不手際だな…
申し訳ない
そ…っ
そんなことを言ってるんじゃなくて……
シード少佐
ひとつだけ聞かせてもらえますか

今
情報部の方はどちらに？
……
…軍事機密だ
ガゴン
ゴゴゴ
あ！
待ってってば!!
シード少佐っ!!
ゴゴゴ

ねぇ ヨシュア…
…こんなこと 考えたくは ないんだけど…
わかってる
だけど 思ってたより ガードが固い
これ以上 追及するのは 無理だよ
せめて あと一歩…
決定的な証拠が つかめれば……
ゴゴゴ

シン…
…あれ？
な なんだ
どうして 途中で 止まったのだ？
……
なに!?
また!? 例の現象が 起こっただと!?

ヨシュア!!
これって…
…みたいだね
戦術導力器も作動しない
あの夜と同じ現象だ
これは黒の導力器による導力停止現象
この要塞の中にラッセル博士がいるって証拠だよ

あ
あのお待たせしました!
できましたよ!
アガットさ…

とっぷり
ア……
アガットさん…
ん…
す…
すみません
すっかり遅く
なっちゃって…
……
そっか…
あわわゎ
あ…あの…

よかった…
ミーシャ…
……?
ミーシャ…?
ガばっ!!
な…
ま…
間…
すっ
すみませんっ
ふえっ
そのっ
服の直しが
終わったので…っ

アガットさんに見てもらおうと思って…
遅くなってすみませんでした！
そ…
そっか…
ど…どうですか……？
おぉー
これ…ほんとにおまえが直したのか？
は…はい…どうで
しょ
どうって…文句ねぇだろこの出来は
ああ
すげーなおまえ
ぴゃあああっ
そっそうですかっ

ぱさっ
あっ あのっ
ん？
その…えと…えと…
ごそごそごそ
ミ…
ミーシャさんって誰なんですか？
……
もしかして…
アガットさんの恋人…とか…？
ごめんなさい聞いちゃいけませんでした？
いや…

ミーシャってのは…俺の妹だ
妹さん!?
そうなんだ…
わぁー!
妹さんっていくつなんですか? わたしより年上?
あぁ…
いや……そうだな…
同じくらいだったはずだ
あの……普段 妹さんとあんまり会ってないんですか?
まぁ…こういう職業だからな
年に一回里帰りした時顔見せる程度か
……
ミーシャさん…かわいそう…

なんでだよ
だってせっかくお兄ちゃんがいるのに…
家族なのに……
なのに…一緒にいられないなんて
ミーシャさん…さびしいと思いますよ?
…きっと…
すごく…さびしがってると思います…

カチャカチャ
カチャカチャ!
あ…
じゃあな
世話に
なったな
ま…
待って
ください!!
アガットさん!!
わたし…もう
迷惑かけません!
無理も
しません!
言われたことは
ちゃんと
守ります!
だから…!
おじいちゃんが…
心配なんです!
お願い
します!!
わたしも
一緒に…
おまえは
被害者の
身内で
ある意味
今回の俺たちの
依頼主だ
だから…
まぁ…
協会に来て
話を聞く
くらいなら
別に
いいんじゃ
ねえか

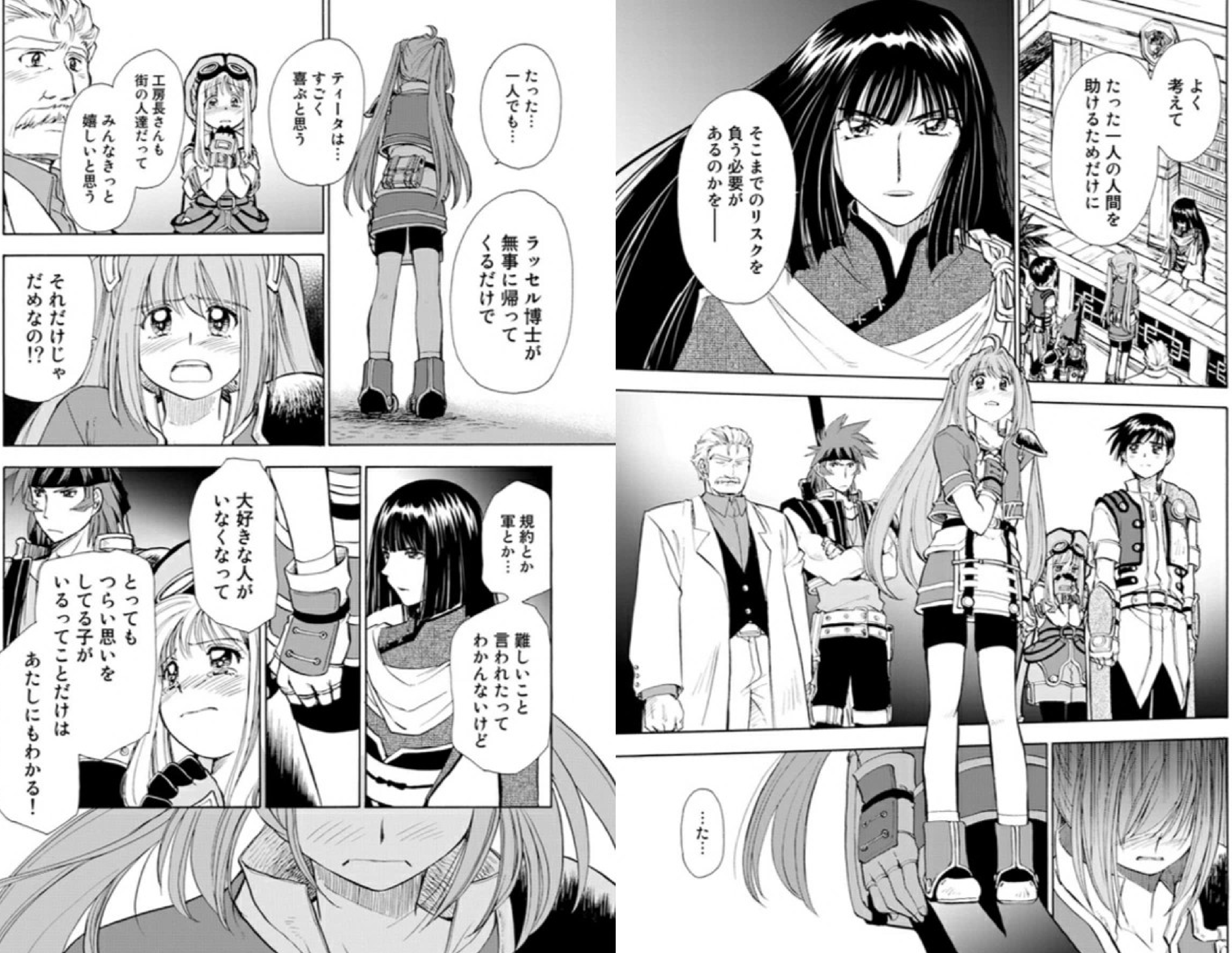
全員
揃ったようね
改めて
確認を
しておくわ!

間違いないわ キリカさん!!
ラッセル博士はレイストン要塞に監禁されてます
しかし…軍はなぜそんな乱暴なことを…
中央工房は長年王国軍と協力関係を築いてきたのに…
王国軍といっても一枚岩ではありませんから
何らかの陰謀が軍内部で進行しているのかもしれません
あの黒装束共も軍の関係者かもしれねえのか…!
とにかく!証拠はつかめたわ!
あとはレイストン要塞に乗り込んで博士を返してもらうだけよ!
おじいちゃんは無事なんでしょうか…
そう簡単にはいかないわ

協会規約第三項「国家権力に対する不干渉」
『遊撃士は国家権力及びそれが認めた公的機関に対して捜査・逮捕権を行使できない』
つまり軍がシラを切る限りこちらに手を出す権利はないのよ
また…それ!?
おかしいわよそんなの!!
市長や軍人はどんな悪いことをしてもいいっていうのっ!?
ただし
この原則には逃げ道があるわ

協会規約第二項
『民間人に対する保護義務』
『遊撃士は民間人の生命・権利が不当に脅かされようとしていた場合これを保護する義務と責任を持つ』…
ラッセル博士は役人や軍人じゃない
僕たち遊撃士に保護されるべき民間人ってことだよ
なーんだ
だったら何の問題もないじゃない!
エステル!
それにマードック工房長
ティータも…
みんなよく聞いてちょうだい
規約なんて解釈ひとつでいくらでも覆すことができるわ
だけど今回の案件は規約うんぬんを論議してすむような質のものではないの

これから遊撃士協会がやろうとしていること…
レイストン要塞に赴いてラッセル博士を救出するということは
リベール王国軍……ひいては…
その後ろ盾である女王陛下をも敵に回す可能性があるということよ
これまで築いてきた互いの信頼関係をこちらからぶち壊すことになる
今までと同じような生活は望めなくなるかもしれないわ…


よく考えて
たった一人の人間を助けるためだけに
そこまでのリスクを負う必要があるのかを――
…た…
たった…一人でも…
ティータは…すごく喜ぶと思う
ラッセル博士が無事に帰ってくるだけで
工房長さんも街の人達だってみんなきっと嬉しいと思う
それだけじゃだめなの!?
規約とか軍とか…
難しいこと言われたってわかんないけど
大好きな人がいなくなって
とってもつらい思いをしてる子がいるってことだけはあたしにもわかる!

だから
あたしは博士を
助けたい!!
悲しんでるその子も
助けてあげたい!!
そうすることで
新たに苦痛を
強いられる
人間が出ると
しても?
だったら
その人達も
まとめて助けて
みせるわ!!
その
人を守り
支える
籠手の紋章に
誓って!!
それが
あたしたち
遊撃士の
仕事でしょ!?

…わかりました
すべての責任は
私が取ります
キリカさん
遊撃士
アガット
エステル
ヨシュア
遊撃士協会から
正式な要請よ
レイストン要塞に
捕らわれている
ラッセル博士の
救出を
お願いするわ!

その軍だけど実は妙な雲行きになってきているの
渦中にあるレイストン要塞の軍総司令部と情報部
そして王都の王室親衛隊はともかくとして…
なぜかハーケン門の国境師団にも連絡が取れない状態なのよ
ハーケン門って……モルガン将軍にまで…?
王国軍内部で何らかの事件が起こっていることは確かだわ
心してかかりなさい
これがレイストン要塞の概略図と資料よ
内部の構造はここにある通り
問題はどうやって中に入るか…ね
あそこの警備は完璧に近いの
へー
導力センサーが周囲に張りめぐらされてるから外壁はもちろん湖からの侵入も難しいわ

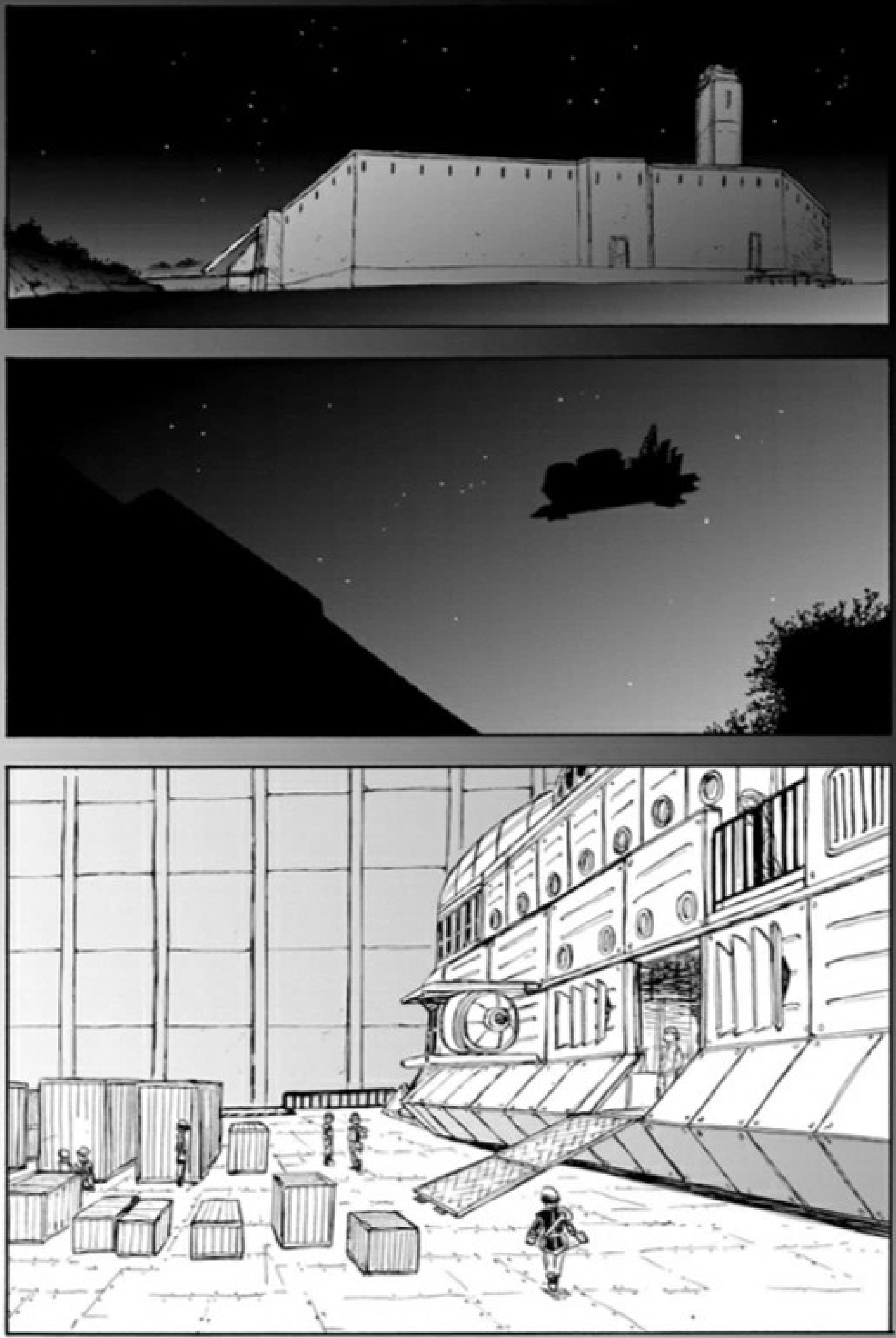
残る方法は空からか…
無理よアガット!不審な船は近づくだけで撃ち落とされちゃうわ!
そ…そうか…
あ あの
ライプニッツ号ならあやしまれずに要塞に入れるんじゃないですか?
そうか!! 中央工房の工房船は資材の搬入なんかで定期的に要塞へ行ってるから…
その船に乗せてもらえば!!
いや…
それは難しいな… クルーは全員チェックを受けるんだよ
なら積み荷にまぎれて忍び込むってのは?
それこそ不可能だ 積み荷はさらに生体感知器まで使って入念に調べられる
それがまたよりにもよって博士特製の優れモノでね…
生体感知器!?

それなら…なんとかできるかも！
おじいちゃんが生体感知器を無効にする導力器を作ってたの!!
まだ試作品だけど…起動テストもしてあるから大丈夫だよ！
おー!!
決まりだな!!
だが…君たちはその導力器を動かせるのかね!?
博士の試作品は我々技術者でも手にあまる程難解だぞ!?
ヴ…
ムリ！ムリ！ぜったいムリ!!
わたしなら…動かせます！
工房長！工房船の手配を頼めるか!?
もちろんだとも!!
わたしが一緒に行きます！

ええっ!? ティッティータくん!?
あのなぁ
だって……あの導力器が動かないと要塞に入れないんでしょ!?
それを動かせるのがわたしだけなんだったら
わたしだってできる限りのことがしたいです！
わたしたちを助けようとしてくれてる人達の…
お姉ちゃんとお兄ちゃんとアガットさんの力になりたいの！
ティータ…
…ありがとう
こっちからもお願いするわ！

ティータのことは
あたしが必ず
守るからね！
うん！
おまえらな
たく……
そのかわり
足手まといに
なったりしたら
容赦なく見捨てて
やるからな!?
はっ
はいっ!!
なによーっ!!
えらそーにっ!!
…話は
まとまったみたいね

くれぐれも…
気をつけて！
女神(エイドス)の加護を!!



ようシード少佐!
グスタフ整備長
すまないな…急な発注に応じてもらって
なんのこれしき
軍は工房のお得意様だからな

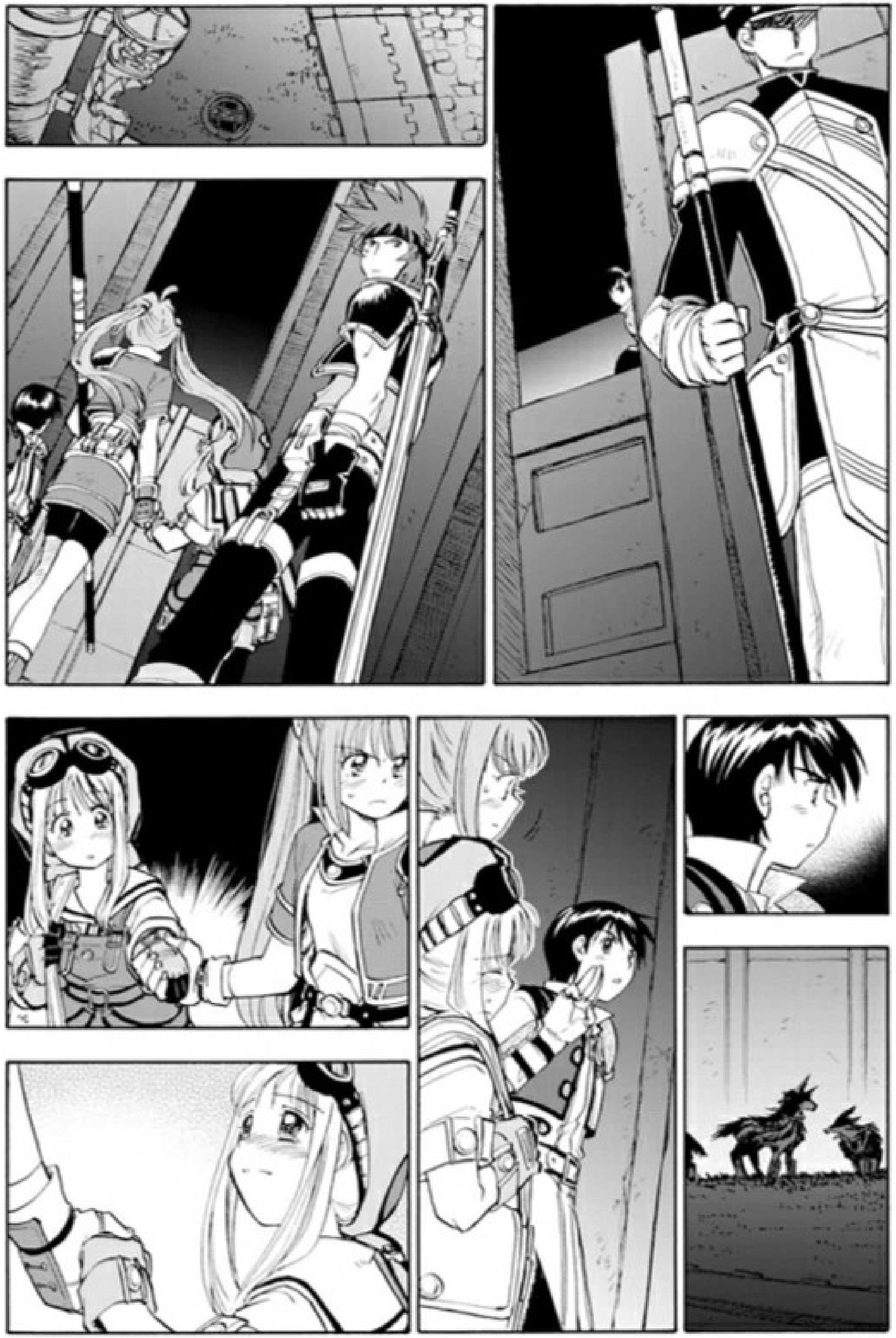
むしろ軍から注文が入るのを
今か今かと待ち受けてたぐらいだぜ!
しかし…今日はいつにもまして警備が厳しいな…
中庭のは…軍用犬か?
要塞の警備に力を入れるのは結構だがよ…
さらわれたラッセル博士の捜索も頼むぜ
あの人は俺の大の恩人なんだからよ
あ…ああ…
それになぁティータ坊が…
ラッセル爺さんのちっちゃな孫娘がな
ひとりぼっちで…
見てられなくてよ…
シード少佐!
全コンテナのチェックが終了しました!
検視及び生体反応共に異常ありません!
搬入は明日にしよう
今日は遅くまでご苦労だった
グスタフ整備長も…色々…すまないな
いや役に立てたならなによりだ
俺にできるのはここまでだからな
あとのことは任せたぜ!

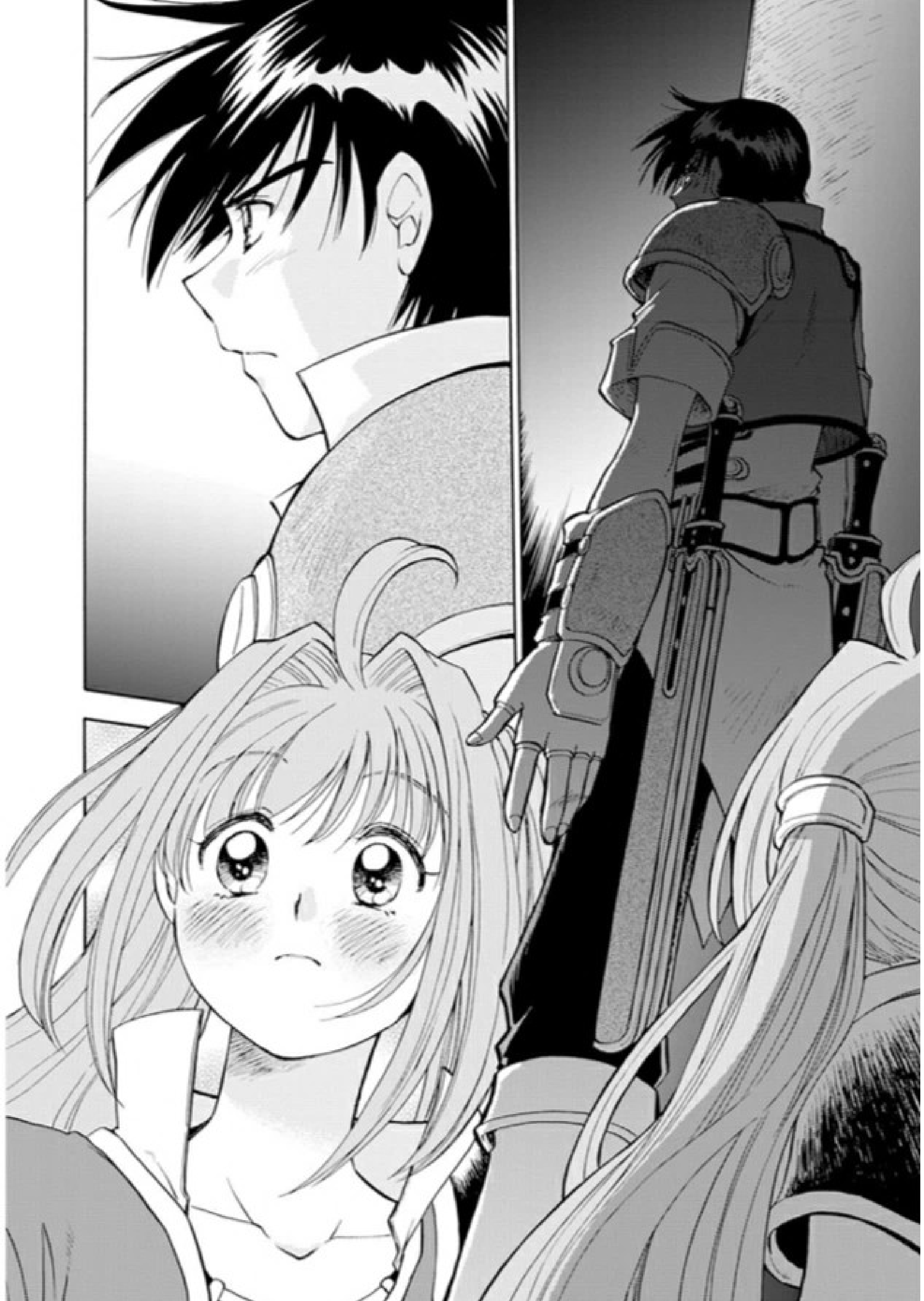
なんとか
潜入できた
みたいね…
はーー
さすがに
つらかったぁ

なななに!?
ヨシュ
大きな声
出さない
ここはもう
軍の本拠地だよ
見つかったら
終わりなんだ
幸い要塞の
地図がある
とにかく
まずは
ラッセル博士の
居場所だな
ここから
いくつか
見当をつけて
中央の
研究棟だと
思います

聞こえてきた兵士達の会話から要塞内の軍人全てが博士の存在を認識しているわけではないことが伺えました
今回の事件は軍全体の総意ではなく要塞内の一部の犯行とみていいと思います
それを踏まえると不特定多数の人間が出入りするような兵舎・司令塔などの施設は候補からはずせる——
研究棟は独立した敷地にあるし
その用途の特殊性から外部の人間を遮断しやすい
設備的にも博士の才能を利用するのにうってつけの場所ですから
なるほどな
じゃあまず研究棟に行ってみるか
そのルート
僕にすべて任せてもらえませんか
必ず安全に博士のもとへ
たどりついてみせますから
あ…
わかった
しんがりは俺が務める
すみません
…じゃあ僕の指示通りについてきてください
うん…
ヨシュアこれレイストン要塞の…
すっ

大丈夫だよ
エステル
全部
頭に
入ってる
…行くよ！



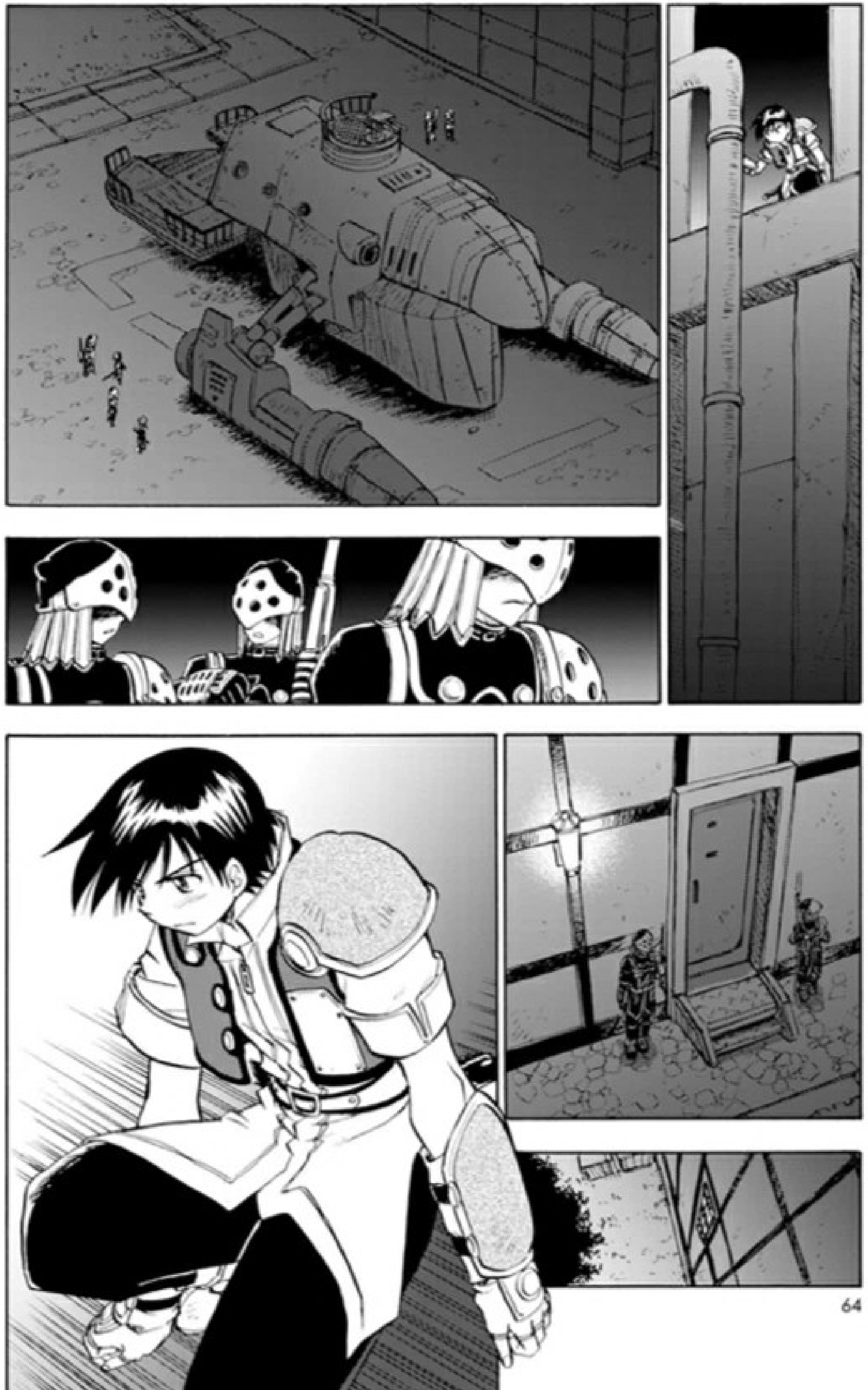


ヒュッ
タ
タ
タ
コン
すっ

あのゲートを越えれば目指す研究棟が見えてくる
そこに必ず
ラッセル博士がいるはずです
さすがは導力革命の父と言うべきか…
本当にありがとうございました

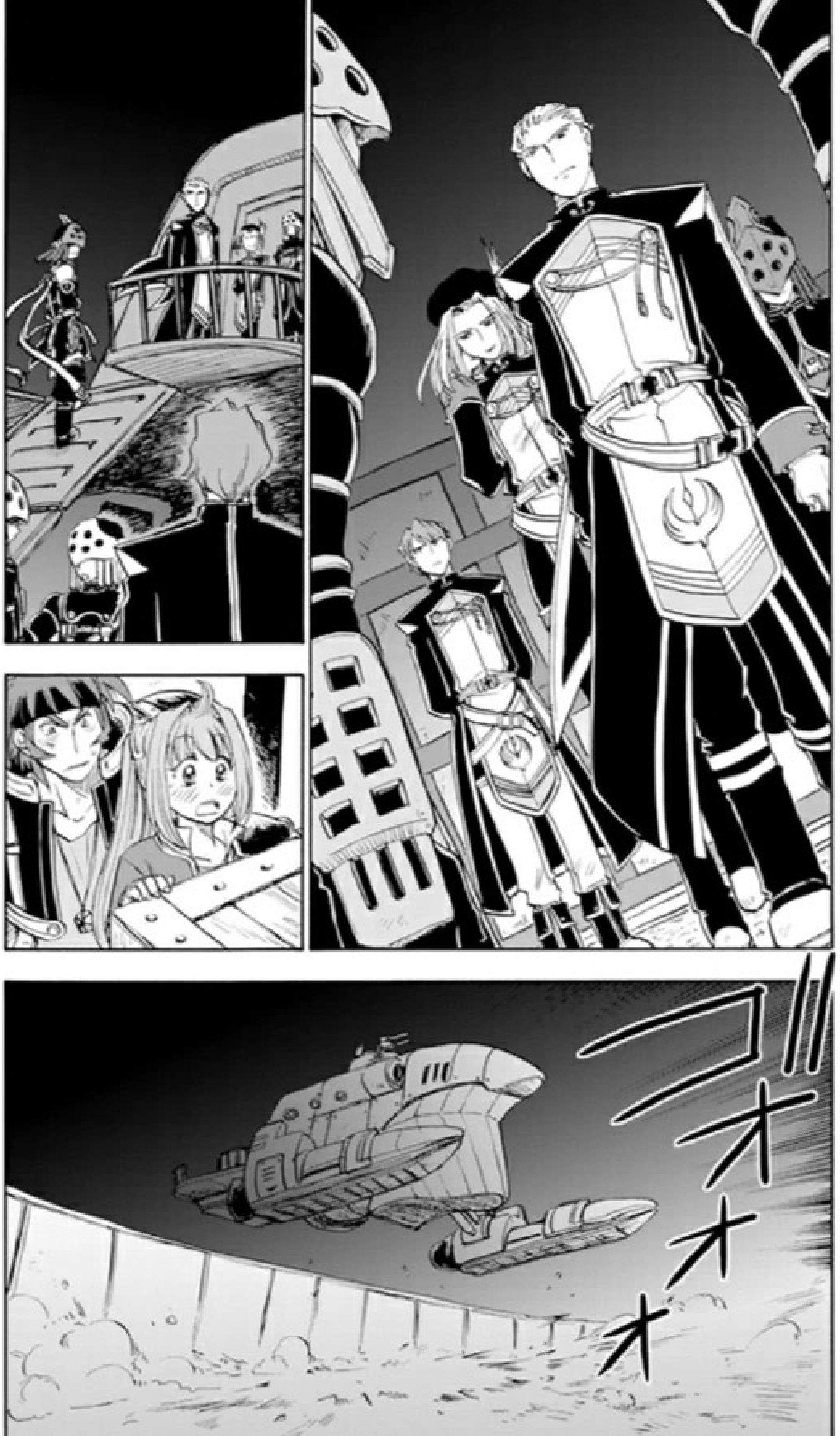
アルバート・ラッセル博士
よくぞこの「ゴスペル」の制御方法を突きとめてくださった
情報部を代表して感謝しますよ
ふん…
いたいけな老人を無理矢理働かせておきながらよく言うわい…
貴様
その黒の導力器(オーブメント)を使って
何をしでかすつもりじゃ

軍情報部司令
アラン・
リシャール大佐！



ス
タ
研究棟に明かりのついてる窓があります
そこから中の様子を伺ってみましょう
あともう少しだよ
みんな頑張って

では我々はこれで失礼しますよ


ゴオオオオ

ヨ…
ヨシュア!!
はっ
ご…ごめん……!
ショックなのはわかるけど
ここはしっかりしなきゃ!!
あ……
研究棟内にいるラッセル博士を保護しなくちゃね

僕たちが見張ってるから早く博士を連れ出して!!
ラッセル博士!!
おじいちゃんっ!!
ばんっ
ティータ!?
おじいちゃあん
なんと……
こんなところにまで……
…さすがはカシウスの子供達じゃな
よくぞまぁあやつらの情報網をかいくぐってこれたのう

ふぁ…
おい?
どうかし…
?
ドサ

ね…ねぇ
ラッセル博士
さっき…
この部屋から
軍人さんが
出てきたけど
あの
人達って…
そうじゃよ
王国軍情報部と
その総司令官の
リシャール大佐
あやつらが
中央工房を襲い
わしを誘拐した
犯人じゃ!
で…でも…
どうして?
なんであの
リシャール大佐が
博士をさらったり
しなきゃいけなかったの?
正確に言うと
彼の目的は
わしではない

彼が真に
欲したのは
黒の導力器(オーブメント)…
その力と
制御方法じゃよ
いや…確か
「福音(ゴスペル)」と
呼んでおったか
ゴスペル?
おまえら
何のんびり
してやがる!!
むう
じいさんも!!
くっちゃべってる
ヒマがあるなら
とっとと脱出
してくれや!!
にわっ
なんじゃ?
この
ガラの悪い
ニワトリ頭は
あんだと
この
ジジイ!!

みんな!!
急いで!!
時間がないんだ!!
あ!
そうよ! とにかくここから出ましょ!
待て待て カペルの中枢ユニットを…
早く!!
…重剣…
アガット…
クロスナー…!?

く…っ
みんなこっちへ!!
どうやら侵入者が現れたようだ!

第1・第2・第3・第4小隊は飛行船発着場及び波止場を封鎖!
第5・第6・第7小隊はそれぞれ兵舎・監視塔・研究棟を捜索!
イエス・サー!!

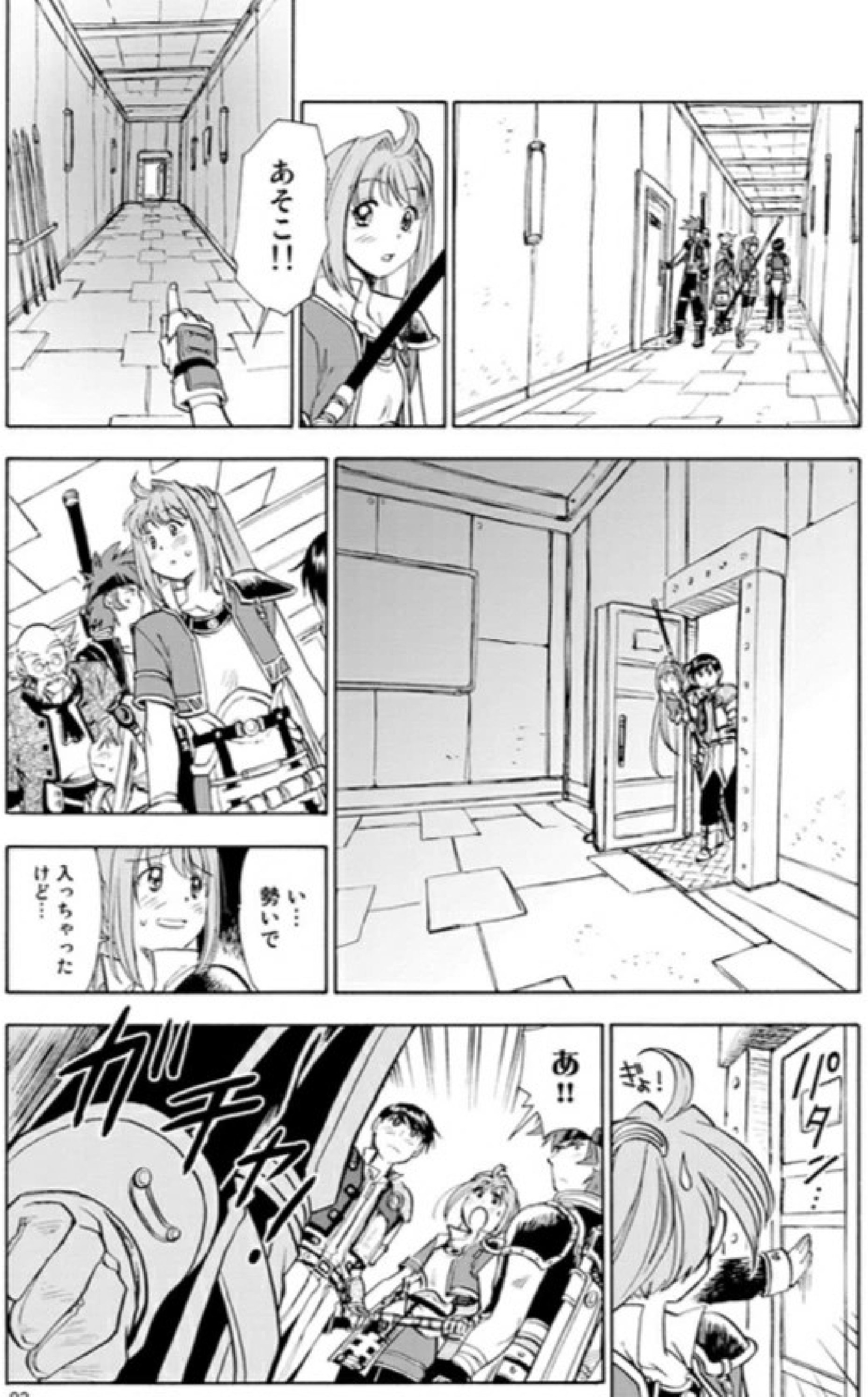
おい
見つけたか!?

…一通り 調べたが…
…監視塔も…
…この 辺りは…
…いや… …まだ…
チャキッ
わっ!
…報告ついでに 捜してみるか…
…そうだな…
…来い!

……
…ねぇ…
いちか ばちか…
このまま 前に 進んで みない?
え?
そっちは 兵士が うろうろ してるだろ
行って… 大丈夫 なのか?
はぁ?
わかんない!
でも… ここでじっと してるよりは
絶対… こっちな 気がする!!

こっちだ!!
捕まりたくはないのだろう!?
こういう時は
己の直感を信じてみるがよかろうよ

エステル!!
ん?
なんだ?
何か聞こえなかったか?
行くわよ!!
みんな!!
よかった…! こっちには兵士は来てないみたいよ
そんなはずは…
この辺りは要塞の中枢部…


あそこ!!
い…勢いで入っちゃったけど…
ぎょ!
パタン…
ガチャン
あ!!

か…鍵……かけられちゃった…
シード少佐…
やれやれ…わしの勘もにぶったかのう
…今度はこの部屋に閉じ込めるつもりか?

数々の無礼失礼しました
今更…何をしても許していただけるとは思っていませんが…
どうか…
皆さんの要塞脱出を手助けさせていただきたい
……どういうつもりじゃ守備隊長
おまえさんリシャール大佐からわしの監禁を命じられていたのではないかな?
な…
なにそれ?
そんな命令おかしいって誰も注意できなかったの?
…はい
軍の主だった将官はリシャール大佐によって懐柔されるか…
自由を奪われ身柄を拘束されています
すでに王国軍全体が大佐率いる情報部に完全に掌握されている状態なのです
どうしてそんなことになっちまったんだよ
いくら情報部がやり手だからってたかだか軍の一部隊だろうが
百日戦役以来軍の規律は少しずつ乱れてしまったんだ
恥ずかしながら…将官クラスの間にも横領や収賄が蔓延していてね
皆…そこをリシャール大佐に付け込まれて…
で…でも…
軍人みんながそんな人達ばかりじゃないでしょ!?
親衛隊のユリアさんや…
モルガン将軍は!?
将軍なら大佐よりも階級だって上だし一発ガツンと叱ってもらえばいいじゃない!
モルガン将軍もまたハーケン門に監禁され…今は全ての権限を失っている

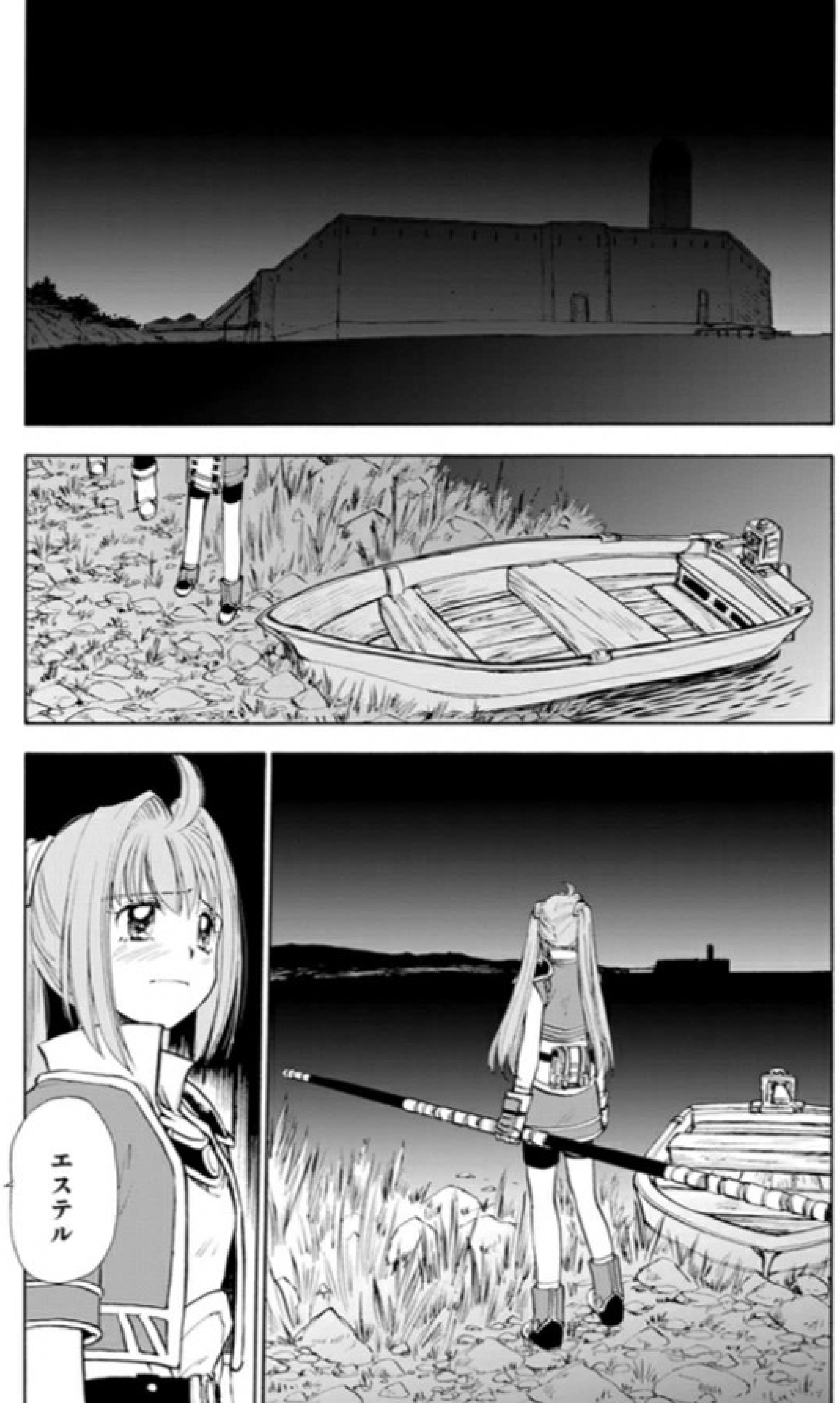
だが勘違いしないで欲しい
彼は決して悪事に手を染めるような人物ではない
だったらどうして
おそらくは
モルガン将軍も…
ご家族を…人質に取られているのだろう…
モルガン将軍が動けない今
リシャール大佐が王国軍の実質的なトップとなった
もはや彼を止められる人間は軍の中には存在しない
…だからと言って…
大佐のしたことは許されるものではない…
それを黙認した私にも責任がある

だから…
せめてもの罪滅ぼしをさせて欲しかった
シード少佐…
…ふん
そういうことなら水に流してやらんでもない
その石頭をスパナで叩き割るくらいで勘弁してやるわい!!
きょ恐縮です
冗談じゃ
さあ!
こんなところさっさとおさらばさせてくれい!
…はい!

もしかして
あなたも…
……
…あ…
そ……
そんな……
シード…少佐…!
エステル・ブライト
ヨシュア・ブライト
君たちの名字を聞いた時からこうなることは予想していたんだ

この緊急退出口を使えば要塞裏の水路に出られる
ボートがあるからそれを使って脱出できるはずだ
ゴゴゴゴ
おお…!
どうか…お気をつけて
さぁ
君達も早く
あの……
うん! ありがとうシード少佐
さっき将軍も…とおっしゃいましたよね

10年前の侵略戦争で帝国軍を撃退した陰の英雄――
その子供たちなら必ずや真実を突き止めて博士を助けに来るってね
だとしたら私もこれ以上無様な姿を見せるわけにはいかないだろう？
私とて
かつては君たちの父君の…
カシウス大佐直属の部下だったのだから
トーントン
びくっ
少佐！ベルクです！
至急報告したいことが！
わかった!! すぐに出る!!
さぁ
早く行きたまえ！
少佐…
……


エステル

今は…少しでも要塞から離れよう
情報部がこのまま博士の逃亡を見過ごしておくなんて考えられない
あ！
そ…そうね
ラッセル博士を安全なところに連れていかないと…
……
でないと…
…ねえ
軍が博士を追ってくるんなら
この際…ティータも博士と一緒に逃げた方がいいんじゃないかしら!?
あ！
で…でも！心配しないでね!?
ティータと博士は絶対守ってあげるから!!
だったら

そいつは
俺が
引き受ける!!
おまえらは
ここで
手を引け!!
なに言って…
さっきの
脱出時
すまん
たぶん俺は
黒装束に身バレ
しちまった…
これで俺も
完全に情報部に
マークされた
はずだ
しばらくは
協会にも戻らねぇ
ほうがいいだろう
同じように
追われ続けるなら
もののついでだ!
2人とも
俺がまとめて
面倒見てやるよ!!

だったら
おまえらまで
ついてくる
必要はねえ!!
アガット!
遊撃士なら
先輩の
言うことを
素直に
聞け!!
いいな!!
い…
いいわけ…
ないでしょ…
なんで…
そんなこと
言うのよ…!
エステル…
逃亡・潜伏の
セオリーだと
わかってる!
一緒に行動する
人が多くなると
それだけ
逃げにくく
なるんでしょ!?
そんなこと
さっきのヨシュアを
見てれば
嫌でもわかる!!

わかるけど…
…けど…
ティータや博士を見捨てて
アガットに危険なこと押しつけて
あたしたちだけ…安全だなんて…
ち…違…！
やれやれ…
勘違いをするでない
本題はここからじゃ
実はな…おまえさんたちには
わしの代わりにある仕事をしてもらいたいんじゃ

ふたりともすまんが…
これから王都グランセルへ向かってくれんか
そこで
グランセル城にいるアリシア陛下と面会して欲しいんじゃ
ア…
アリシア…
陛下って…
え!? まさか
リベールの女王様!?
どういう事でしょうか……？
わしを救出したからと言っても
根本の問題は何も解決はしておらんのじゃ
いや…
むしろ「黒の導力器(オーブメント)」の…
「ゴスペル」の制御方法をはじき出してしまった分
事態は悪化してしまったのかもしれん…

その「ゴスペル」を手に入れたリシャール大佐が
王都で何かをしようとしておる
わしの勘が正しければ
リベール王国にとって非常にマズイことが起こるはずじゃ
カシウスの子供たちよ
どうかこのアルバート・ラッセルの代理として
このことアリシア女王陛下に直接伝えてはくれまいか
…ためらうのも無理はない
わしらどころか国の命運を左右するほどの仕事じゃからな
だが…
だからこそおまえさんたちに引き受けてもらいたいんじゃ
でも…
あ…
あのね
エステルお姉ちゃん
そ…
そんなこと…ないよっ
お姉ちゃんはずっとずっと
わたしを守ってくれてたよっ
わたしのこともおじいちゃんのことも
今までいっぱい助けてもらったから！
だから…
わたしはもう大丈夫だよ!!

ティータ…
ごめんね…
ぎゅっ
ありがとう!
大好きだよ…!!

うん…
あたしも!
大好きよ!!
まったく…もう
そんな風に言われたら断れないじゃない
嫌なら断ったっていいんだぜ?
あ!?
そっちも俺が逃亡ついでに片づけといてやっからよ
あんですって!?

本来そういう重大な依頼は正遊撃士の…
だ…っ
だめっ!!
だめーっ!!
…わかったわ ラッセル博士っ!!
あたしたち必ず女王陛下に伝えてくるから!!
その依頼！引き受けさせてもらいます！
たく…なんでこいつらに頼むんだか…
なによーっ!!
だいたいそもそもあんたが黒装束に見つかったりするからいけないんじゃないのっ!!
はは
違いねぇ
もぉ!
…なるほどな
つまり
まだ奴らに見つかってないおまえらはノーマークで動けるわけだ
だから一番重要な役割をお願いするのがいい
…だな?
博士とティータのことは心配すんな!
そのかわりあとのことは全部任せた!!
頼んだぜ!!
エステル!!
ヨシュア!!

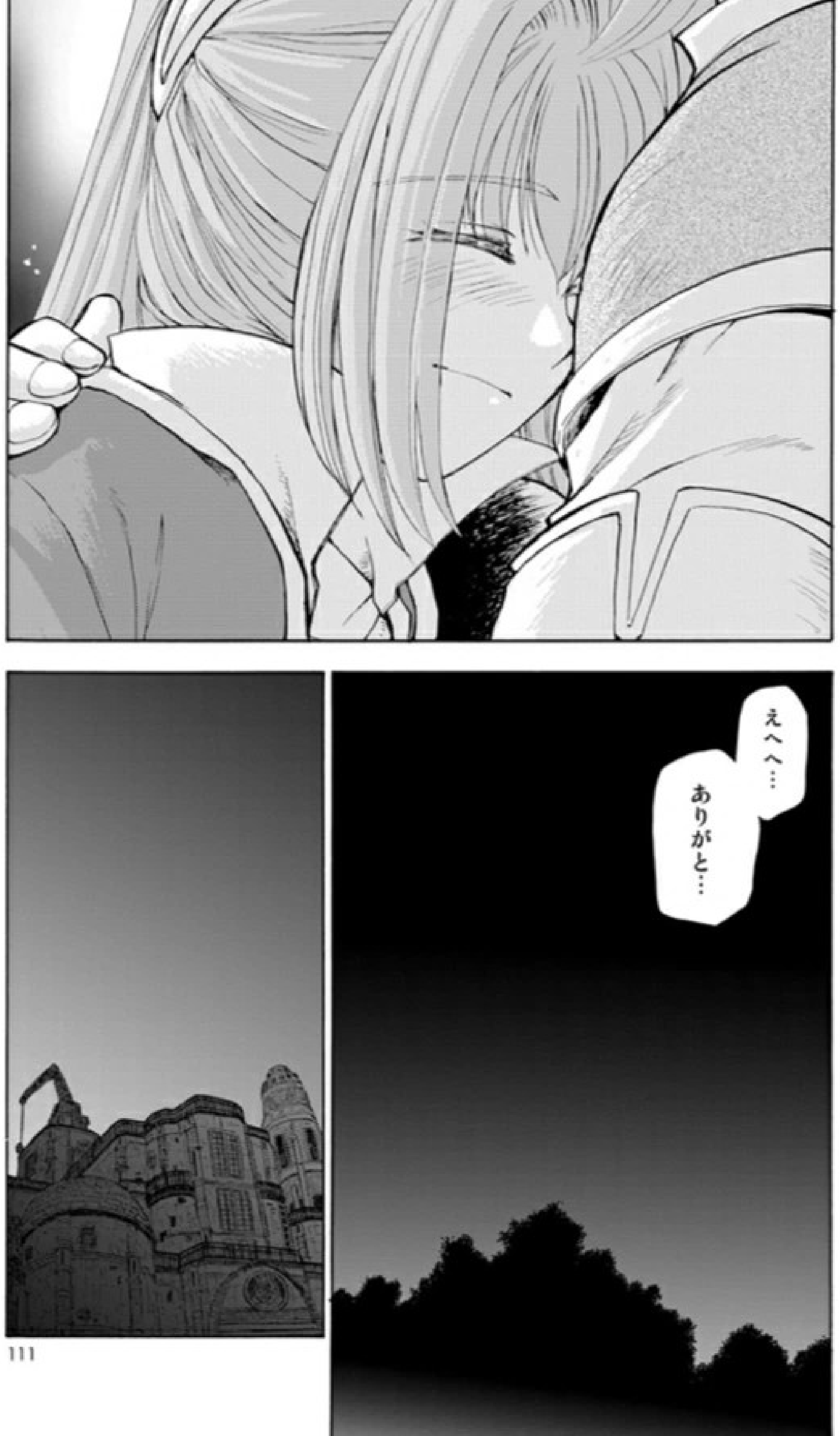
ええ!
アガットさんもお気をつけて!
あ…
ありがとうみんな……!
ありがとう!
ティータ!
ラッセル博士!
アガット先輩っ!!
気色悪い呼び方するんじゃねえっ!!
さあ
僕たちも行こう!

雨だよエステル
本降りになる前に街へ戻っておきたいね
もう少しペースを上げよう…
エステル?
雨が降ってきたみたいだから…
あ…

うっ
うん！
そうね！
あ…じゃあ急いで街に戻らないと！
それから…協会に報告もしなくちゃ！
それから…
……
もっと…
もっともっと努力して…！
しっかりしなきゃ…！
絶対…
正遊撃士になれるぐらい…
頑張るから…!!

……
だけど…
どうしても
うまくいかないことがあったら…
もし…
その時は…
ちょっとだけ…
力を貸してね…
もちろ…

君の悲しみや苦しさを完全に分かち合うことはできないけど
こうして側にいることはできるから…
僕の力でよかったら
いくらでも貸してあげるから
当たり前だよ


えへへ…
ありがと…

なるほどね…
…で?
リベール王国で物見遊山を洒落こんでる共和国の遊撃士さんは
このあとどうするつもりなの?
ははは…
そうだな
エルモの温泉も堪能したことだし…
女王生誕祭前にやっておきたいこともある
俺はこのまま一足先に向かうとしよう

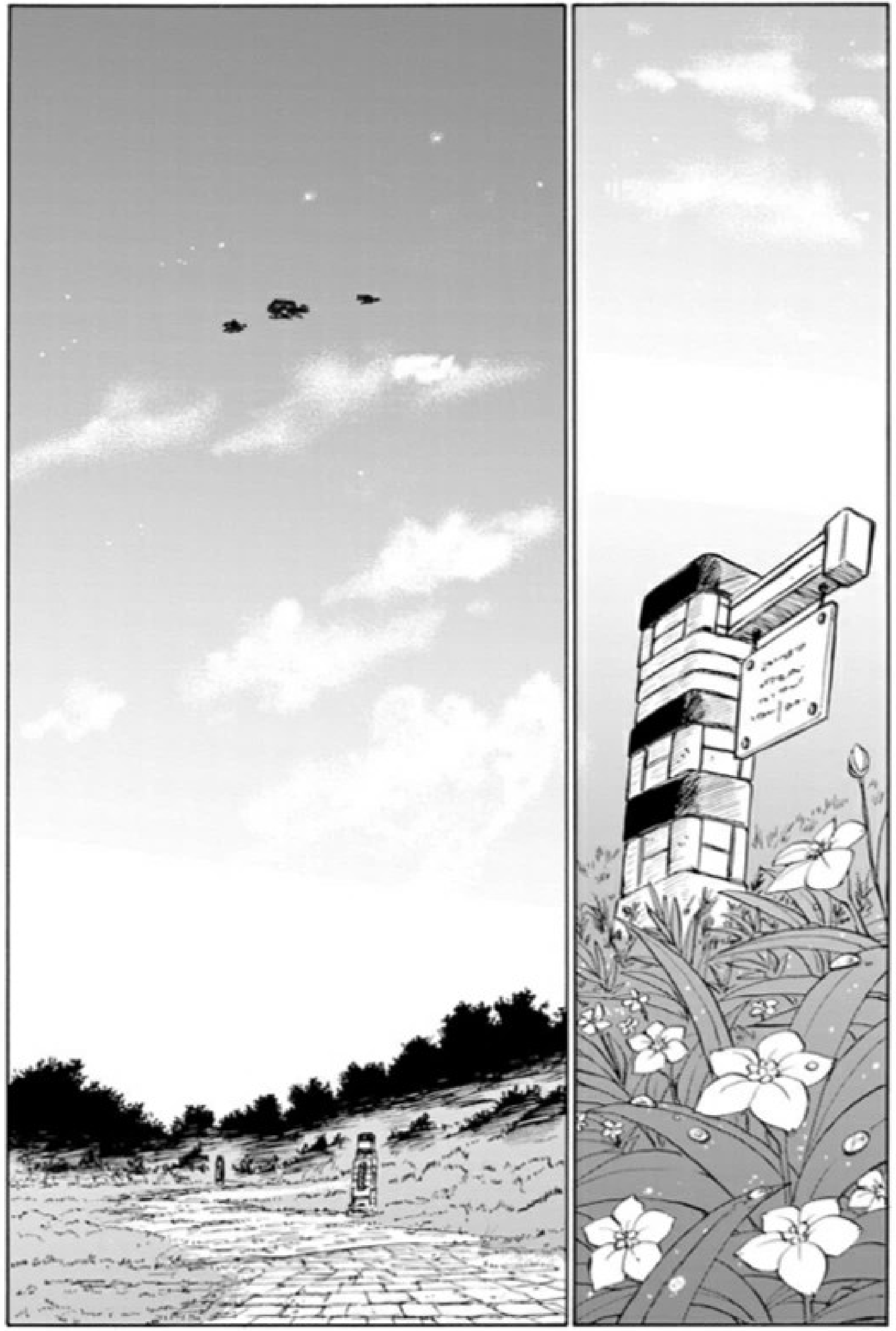
リベール王国
最大の都市
王都
グランセルに
麗しの王都に暗雲立ち込め
昏き情熱の序曲が鳴り響く…
フフ…
面白くなってきたじゃないか
あいかわらずのお調子者だな
オリビエ
目当ての人物がいない以上この地に留まる必要はあるまい
巻き込まれる前に帝都へ帰るぞ
ご冗談を

役者も舞台に揃いつつある…
せっかく始まる極上のオペラだ
参加しないという手はあるまい
貴女はこのままグランセルへお向かいください

ユリアさんは!?
ダメです!
私ひとりだけ逃げるなんて!
私はここで敵を食い止めます
クローゼ
人にはそれぞれ守るべきものがあります
それゆえ私はここに留まるのです
…貴女は?
…絶対に…
無茶はしないでください…!
さあ!
お急ぎを!

ブオオオオオオオ
あ…!
情報部の特務艇!?
まさか…王都に現れるなんて…!
やあ
めずらしい所で会うものだな

ジェニス王立学園
社会科在籍
クローゼ・
リンツ君
少々話を
聞かせて
もらえるかね？
……
リシャール
大佐…！



あれって…定期飛行船じゃないわよね?
王国軍の警備艇だ
本格的に動き始めたみたいだね

あの船…
ツァイスの街に向かってるわね…
キリカさんもマードック工房長たちも
軍の扱いは僕たちなんかよりずっと慣れてると思うよ
若輩者の僕たちが心配するなんて逆に彼らに失礼かもね
そ…そうね
あたしたちはあたしたちで託された使命に全力を尽くさなきゃ!!
だけど…あんまり気負わないでいこう?
へ?
確かに博士の依頼はとても重大な案件ではあるけれど

ヨシュアは…
あたしのことどう思っているのかな
嫌い…じゃないのよね
いつもそばにいてくれるし
いつも気にかけてくれるし
絶妙なタイミングでフォローがはいって…
ヘマしてもすかさず助けてくれる…
…ん？あれ？
…それって
単にあたしが目の離せない手のかかる子だってこと…？
ちょちょっと待ってよ…
あたしは…

だからこそ
いつものように
…ね？
うん
じゃあ…情報部の連中に手を打たれる前にグランセル地方へ入っておこうか
はーい！
もうすぐツァイスとグランセルを結ぶ関所が見えるよ
そこを抜ければ夕方には王都に着けるはずだから…

あーっ!!
だめだめ!!
こういう時こそ
いつものように!!
エステル!
見えて
きたよ!
王都を囲む
城壁の関所
「セントハイム門」が

やっぱり
アガットたちを
捜してるの
かしら…
おそらくね…
何らかの形で
要塞の件は
伝わってると思う
念の為 僕たちも
遊撃士で
あることは
ふせておこう
……で
わざわざ
街道を通って
デートかい?
そんなの
じゃない
ですよ
僕たち
これでも
兄妹なんです
ああ…確かに
同じ名字だね
お待たせ!
これで手続きは
終了だよ
君達の通行を
許可しよう!
これは
これは
エステルさんに
ヨシュアくんじゃ
ないですか

アルバ教授
またタイミングよく現れるわね
ストーカーみたいに言わないでくださいよー
私だって本当はもっと早く王都へ行く予定だったんですけどね
ここに来るまでやたらと軍人さんの職務質問につかまってしまいまして…
それって教授があやしい人だからじゃないの？
違いますよ！本気にされたらどうするんですか！
ん？
私は決して不審者ではないですよ？
彼らとも知り合いですし
ほらっ！ねっ！？
なんてったってこの子たちは
れっきとした遊撃士なんですから
遊撃士…だと!?
あの…
なら通行許可は取り消しだ
奥で話を聞かせてもらおうか！
ど…どうして？
その…
実はリベール各地で女王陛下に反逆するテロ事件が起きたようなんだ
テロ!?
その中に遊撃士を装って活動している連中もいるらしくてね

なんでそんなことになってるの!?
とにかく軍本部からの命令だ!!
身元が証明されるまでここに留まってもらうぞ!!
冗談じゃないわよ!!
あ…あの…!…
私が…保障しましょうか?
てへっ
あんた何様だね!?
ひー
わ…私は考古学者のアルバといいます
故郷ノーザンブリア自治州から研究調査のためはるばるこの地へまいりました
ちなみに
リベールが誇る王立歴史資料館において栄えある特別客員という肩書きをいただいております
ええっ!
これからその資料館へ研究報告に向かうところなんですが
王都への街道には魔獣が出るとの話を聞きまして
そこでそちらの遊撃士さんに護衛をお願いしたんですよ
しかし…アルバさん
なんなら問い合わせてくださっても結構ですよ
もっとも
由緒正しい歴史資料館の館長が直々にしたためてくださったこの紹介状に
疑わしいところがあるならば…の話ですが♡
遊撃士諸君!!
学者殿をしっかりお守りするのだぞ!!
ははは
……………
ぴた

はぁー
う…うまく いきましたかねぇ…
助けてくれて ありがとう アルバ教授！
そ…それは よかった…
実は私 嘘をつくのは あまり上手く ないもので…
じゃあ さっきの嘘も ホントに しちゃいましょ
…しかし 結局 君たちには 王国全ての地方で 会ったことに なりますねぇ
何か深いご縁が あるのでしょうか
さぁー どーかなー
全ての？
あ そっか
ヨシュアは ルーアンの時は いなかったっけ
教授ってばね ジェニスの学園祭にも ちゃっかり来てたのよ
そうそう その時 エステルさんに 言ったんですよ
ヨシュアくんと
きゃああぁぁ
悲鳴!?

賊か!!
あんたたち 大丈夫か!?
だめじゃ ないか 街道なんか ウロウロ してちゃ…
グランセル市街から 出ないように 布告があった ばかりだろう？
すみません
テロリストが この辺に潜伏 してるかも しれないんだぞ
あ
テロリスト ですか…
こんな 平和な国に そういう人が いるなんて…
…こういう森に 隠れているのかも しれませんね
この先は… 「エルベ離宮」
…女王様の 小宮殿だ そうですよ！

これ以上はだめだってば教授！
見てくださいこの石柱は数百年前のものですよ
いい加減にしないと置いてっちゃうわよ！
ほら！さっさと来なさい！
どん！
もう…こんな奥まで来ちゃって…
でも…この森変じゃない？
仮にも女王様の別荘が近くにあるっていうのに
なんだか…嫌な気配がするような…

ヨシュア！
ブブ
ブブ
え？
魔獣？
おそらく虫形魔獣の羽音だね
教授はうしろにさがってて!!
大型で…かなりの数…
それにたぶん強敵だ
気をつけて！
…来るよ！

え…
修道女(シスター)!?
あなたがたもお逃げください!!
魔獣がすぐそこまで来ています!!

大丈夫よシスター!
あたしたち遊撃士なの!
魔獣は僕たちが引き受けます
いけません!! いくらあなた方でも
あんな数を相手には…
ふ…
ふわ!!
わあっ!!

ちょ…
待って…!?
く……
熊!?
これって魔獣っていうよりも…
く…
熊って…
ずしん
俺の名前はジン・ヴァセック
こう見えても一応分類上は人間だぞ?
…あれ?
でもシスターは魔獣に追いかけられてきたって…
そうそう!お嬢さん!

私の薬草カゴ!?
エルベ離宮の近くで拾いましてね
り…離宮から……
落とし主を捜してたら貴女の姿が見えたもんで
追いかけてきてくださったのですか…
なーんだ
じゃあ魔獣っていうのもシスターの勘違いだったのね
ち…違います!!
中型の魔獣が大群をなしてこちらに向かってきているんです!!
とても太刀打ちできる相手ではありません!
早く森の外へ逃げましょう!!
ああ

あいつらならけちらしておいたので
しばらくは心配いりませんよ
…え!?
だが…確かにこの辺りの魔獣は数も質も異常だな
軽い気持ちで先に進むのは危険すぎる
シスターの言う通り
早くこの森から離れたほうがいいだろう
…はい
ご忠告ありがとうございます

…にしても度胸あるわねシスター
魔獣が出るような森にひとりで入るなんて
その…
エルベ離宮の近くに質のいい薬草が生えているのでつい…
それに…
あの森には魔獣などほとんどいなかったのです
最近になって急に増えてきてしまって…
まるで
離宮への道を阻んでいるかのように…
あ
ほら…
見えてきましたよ

あのひと際大きな建物が
リベール王国女王アリシア陛下が住まわれるグランセル城ですよ
その城を扇状に囲む形で
ヴァレリア湖畔に城下町が広がっています
ここが…リベール王国が誇る首都

王都グランセル…！
やれやれ…やっと王都に着きましたね
では…私はここで失礼します
よかったらこの先の歴史資料館に遊びに来てくださいね
あ
うん
私の輝かしい研究の成果を
じっくりみっちりご教授してさしあげますから
あー…
うん…そのうちね……
待ってますよー♡

エステルさんヨシュアさん
私もここからはひとりで大丈夫です
……
では…ごきげんよう
あ…
うん
さよならシスター…
あ…
あの…！
もし…森に行かなきゃいけなくなったら
いつでもあたしたちを呼んでね？
ひとりなんかで行くよりは絶対いいと思うから！
ありがとう…ございます……
とても…心強いです！

あれが…グランセル城…
あそこに女王様がいるのよね!
エステル
はやる気持ちはわかるけど…
…でも
お城に行けばすぐ会えるほど単純な問題じゃないわよね…
ねえヨシュア
先に遊撃士協会に行ってくれない?
悪いんだけどお城はちょっと我慢して
王都が今どんなことになってるのか
あたし知っておきたいの!

実は先日王都で動きがありました
この数ヶ月の間にリベール各地で起きた主だった事件が
すべて同一のテロリストの犯行だったと軍から発表があったんです
各地の……
飛行船事件やルーアン市長逮捕の件も…ですか?
でもその犯人はもう捕まってるでしょ?
ええ
女王陛下に対する反逆罪の容疑で女王直属の王室親衛隊が一斉に検挙されたようです
反逆罪!?
ユリアさんが!?
どういうことなのエルナンさん!?

事件を担当した情報部の報告や住民の目撃情報から真犯人の親衛隊が浮かび上がったそうです
情報部！
ボースでの飛行船事件で逮捕された空賊からも軍のある組織とつながっていたとの証言が取れていますし
あんですって!?
ルーアンでは遊撃士協会がレイストン要塞に送信した支援要請を不正に入手し要塞からの援軍が到着する前に市長の逃亡を手助けしようとした疑惑がもたれています
え!?
実際ルーアン港に現れた親衛隊の高速巡洋艦やツァイス中央工房から逃亡する親衛隊員たちの姿が情報部から提出されていますし
……
ドロシーさんの写真か……
でも!!
これほど揺るぎない証拠が揃えば女王陛下とてかばいだてはできないでしょう
…ただ…
あまりにも
証拠が揺るぎなさすぎる…
いえ……この完璧な仕事こそがリシャール大佐の有能さを示しているのでしょう
エルナンさん!!
落ちついて聞いてね!?
あたしたち
そのリシャール大佐の裏事情を知ってるの!!

でも…
本当なんだってば!!
スッ
だとしても情報部の優位をひっくり返すのは困難でしょうね
私たちは遊撃士協会の性格上軍への介入ができません
親衛隊が故意に失脚させられたのならば
彼らが守ってきたグランセル城もリシャール大佐に掌握されている可能性があります
そうなれば面会どころか城門をくぐることさえ正攻法では厳しいでしょう…
ですが
そこは頑張ってなんとかしてみましょう!
博士からのご依頼は遊撃士協会グランセル支部が承りました
サポートは私に全てお任せください!
この件の遂行担当は
引き続きあなたたちにお願いしてもよろしいですね?

申し訳ないが
グランセル城は
関係者以外立入りを
禁止しているんだ
テロリスト対策なんだよ
ごめんね
そーなんだ…
がっくし—
女王様に一目だけでも
お会いしてみたかったんだけど…

それは…ちょっと難しいなぁ
最近陛下もお身体の調子が悪いみたいだし…
え!?
女王陛下はご病気なんですか!?
ああ…心労によるものらしいけど…
信頼していた親衛隊に裏切られたことがよっぽどショックだったんだろうね
…陛下が心配ですね
そんな状態で政を執り行うのはさぞお辛いでしょうに…
ああ…だから今は女王代理として
陛下の甥のデュナン公爵閣下が政務を担当されているんだ
デュナン公爵閣下

…といっても公爵閣下は名目上の代理
今 実質的に国を動かしているのは閣下の補佐を務めている人の方なんだけどね
国を…動かす？
その人物…もしかして
もちろん
王国軍情報部リシャール大佐だよ!!
まさか…大佐が女王様の代わりをしてるなんて…
情報部が親衛隊にぬれぎぬを着せたのはこれが目的だったんだ
こんな時に本当の女王様の代理は何をやってるの!?
デュナン公爵という人だね
確かに…どういう人物かは調べておいた方がよさそう…
ゴオン!!

ゴゴゴゴ
城門が…
あれ？
お出ましのようだな
ちょっと端に逃げといた方がいいよー
どたどた
スタ
どたどた
スタ
どたどた
ええい!! フィリップ!!
なぜ起こさなかったのだ!!
申し訳ございませんデュナン公爵閣下
ですが閣下… ここ数日宴会を設けては呑めや歌えやの大騒ぎをしたあげく ビールとドーナツを一緒にお召し上がりになりながら朝まで劇画雑誌を読みふけておられる… そのような調子では寝過ごされるのも
黙れ!! フィリップ!!

次期国王たる私には好きな時に好きなことをする資格があるのだ!!
いざ!! 王立競技場へ!!
ドドドドド
スタスタ
え?
こく こく
…閣下?
王立競技場…?
こ…こんな時に女王様の代理が
なにやってんのよぉ!?

ワァァァァ
勝負あり!!
紅の組クルッチームの勝ち!!

こ…
これって…
毎年 王都で
生誕祭前に
催されてる
武術大会だよ
腕に覚えのある
人間が集まって
己の武術を
競い合うんだ
武術大会!!
あれ？
あの
女の人…
確か…
ルーアンの!!
正遊撃士の
カルナさんだ!
出場して
たんだね
とにかく
デュナン公爵を
見つけて動向を
探ってみよう
彼から何か
突破口が
つかめれば…
続きまして
武術大会予選
第8試合を
始めます!!
すごーい！
カルナさん！
いいなぁ!!
カルナさん!!
キャー
キャー
エステル
ここに何しに
来たのか
わかってる？

蒼の組
チームレイヴン所属
ディン選手以下
4名のチーム!!
紅の組
カルバード共和国
出身
武術家ジン以下
4名のチーム!!
あれ？
あの人は
森の熊さん!
ジンさん
でしょ
…なお
ジン選手は
メンバーが
揃わなかったため
1名のみでの
出場となります!!
To be continued…

英雄伝説 空の軌跡⑤

漫画：啄木鳥しんき
原作：日本ファルコム

発行日：2013年3月7日

バンダイビジュアル株式会社
株式会社角川グループパブリッシング

「Web コミックゲッキン」2012 年 8 月〜 9 月
バンダイビジュアル公式 HP
2012 年 10 月〜 2013 年 2 月掲載

いつもありがとうございます！感謝しています！ 201302